

市協01

成果指標 (事業の達成度を測る指標)	指標名			平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	①	受講希望者率	%	目標	90	90	90	達成率(%)	90
		(式又は説明) 全申込者数÷講座の定員の総数×100		実績	91	79	81	90.3%	
		(式又は説明)							

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
		○				○		○		

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	受講希望者数は、依然として多いことから、市民ニーズが高いと言える。また、これまでと同様に地域の高等教育機関や民間団体などとの連携を継続しており、地域性の高い事業である。さらに、社会や国際情勢の動向にも考慮した講座内容であることから、市民の問題解決に積極的な支援を行っていると言え、妥当であると考えられる。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	平成21年度より民間に委託し、民間の持っている集約のノウハウなどの有効活用により、コストは最小限に抑えつつも、効率的な事業展開ができています。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☐	☒	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	事業開始当初から「市民スタッフ」と一緒に事業運営をしており、委託後も継続してその形をとっている。また、市民ニーズを知るためにアンケートを実施し、積極的に意見を求め、反映させている。
	有効性 達成度	成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☒	☐	目標は概ね達成できているが、今後も向上の余地がある。
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担 当 部 局 評 価	総合評価	
	☒ 継 続 ☐ 改 善 ☐ 縮 小 ☐ 廃止・休止 (概ね現行どおり継続して実施) (実施方法の改善を検討する) (事業規模の縮小を検討する) (廃止・休止を検討する)	
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)	
	民間ならではのノウハウを活用して、さらなる事業内容の充実や事務の効率化を図り、既存の利用者だけでなく、新たな層の獲得を視野に入れた事業展開をめざす。	
行 革 本 部 評 価	総合評価	評価理由・意見
	☐ 継 続 ☐ 改 善 ☐ 縮 小 ☐ 廃止・休止	